



おさかな瓦版

No. 47
2012.6

シリーズ：日本海のさかなたち 第8回

アカモク



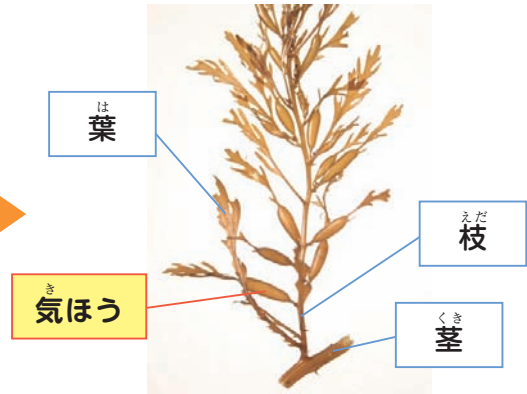
ふーちゃんのトピックス

すいさんそうごうけんきゅう
水産総合研究センター Webサイトに
キッズページができました！

アカモク ~ 海に森をつくる海藻 ~



📷 1-a. アカモク



📷 1-b. アカモクの気ぼう

アカモク (📷 1-a) は、北海道から九州までの沿岸で、浅いところの岩場に生えている茶色の海藻です (📷 ワンポイント)。日本海側の地域では「ながも」、「ぎばさ」、「神馬草」などと呼ばれ、昔から食べられていました (📷 2)。食感はシャキシャキして、めかぶのように粘りがあり、健康によいミネラルやフコイダンなどの成分が含まれています。



あんじいのワンポイントアドバイス

海藻と海草

陸の草木と同じように栄養を吸収する根があり、花が咲く種子植物が海草で、それ以外を海藻というのじゃ。みんなが食べる「のり」や「こんぶ」、「わかめ」などは海藻じゃよ。

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

岩場



海藻

仮根

砂や泥の場所



海草

根



📷 2. アカモクのサラダ



アカモクの
アカモックン

ボクは栄養があつて
おいしいんだよ!
どんどん食べてね。

アカモクは、茎から枝がのび、そこにたくさんちいの小さな葉がついた形かたちをしています。高さは1～4メートルにもなります。また、陸の草木にはない「気ほう」という小さな浮きぶくろがたくさん付いています（📷 1-b）。この気ほうきほうが浮くため、波でちぎれたりしても、アカモクは海に浮いてただよいなが流れます（📷 チェック）。

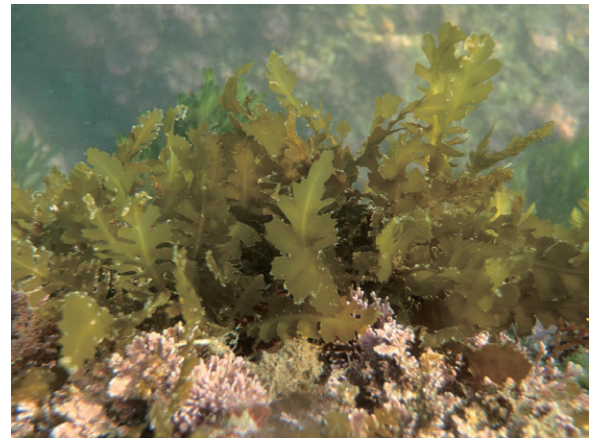
アカモクがたくさん生えている場所はまるで森のように見えます。このように海藻や海草がつくる海の森は藻場と呼ばれ、魚、貝、イカなどが卵たまごを産んだり、小魚が身をひそめたり、えさを食べたりする場所となります。

アカモクの寿命は1年です。冬から早春にかけて子孫を残すと枯れてしまうので、夏

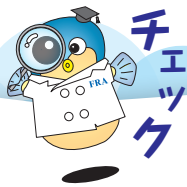
にはまだ大きく育ったものは見られませんが、岩場を注意して見てみると、精子と受精した卵たまごから発芽し、少し大きくなったアカモクの芽生えを見ることができます（📷 3）。

アカモクは食べておいしく、海の中では生き物たちの大切な生活の場をつくりますす。しかし、アカモクをはじめとした海藻や海草は、海の環境が変わると育ちが悪くなったり、姿を消してしまったりすることがあります。水産総合研究センターでは、海藻や海草の生活を調べ、海の水温などの変化で藻場がどうなるのか研究を進めています。

（阿部 信一郎・坂西 芳彦）



📷 3. アカモクの芽生え



チェック

ながも 流れ藻

海をただよっているアカモクなどの海藻は「ながも」と呼ばれ、ブリやマアジなどの子どもが生活する場所や、サンマ、サヨリ、トビウオなどが卵たまごを産む場所になります。ながもがどこまで流れていくのか調べてみたところ、兵庫県ひょうごけんの日本海沿岸で目印をつけた流れ藻が、青森県あおもりけんの太平洋沿岸まで流れてきたこともありました。

色々な魚のやりかごに
なっているんだね



すいめん
水面上に浮いたアカモク





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

キッズページ ▶ <http://www.fra.affrc.go.jp/forkids/>

水産総合研究センターのトップページの
バナーからもキッズページにいけるよ。



すいさんそうどうけんきゅう

水産総合研究センター Webサイトに キッズページができました！



水産総合研究センターで取
り組んでいる研究や技術開発、
水産業のしくみなどをわかりや
すく紹介したキッズページを
オープンしました。ぜひ見てね！

へん~ おさかなのことが
いろいろのっているね。



体験館では、季節によっては、サケの産卵や卵から産まれたばかりの赤ちゃんを見たり、サケの子どもたち
にえさをあげることが出来ます。

また、ビデオやパネルで、サケの子どもを卵から育てて、増やすさいばい漁業や、サケのふしぎなどを学べ
ることが出来ます。



ビデオを見てサケの勉強しよう



卵から産まれたサケの赤ちゃん



サケの子どもにえさをあげてみよう



えさを食べるサケの子どもたち

クイズにも
挑戦してみてね！



このさかな
見覚えあるぞー！



メダネモチノウオ(ナポレオンフィッシュ)を、卵から子どもを育てることに日本で
初めて成功しました！

メダネモチノウオ(別名:ナポレオンフィッシュ)は、和歌山県より青の太平洋やインド洋などの
暖かい海にすんでいます。

とってもおいしいほかにも、中華料理では高級品とされています。最近では、とりすぎて数が
少なくなり、絶滅のおそれがあるため、ワシントン条約で取引が制限されています。

2011年に水産総合研究センターは、メダネモチノウオの卵を産ませ、子どもを育てることに
成功しました。

今後は、メダネモチノウオの子どもをたくさん育てる技術を開発し、養殖する研究を始めるま
す。

ワシントン条約:
絶滅のおそれがある動物や植物を、国際的に取引するための決
まりです。
メダネモチノウオは、絶滅のおそれがあるため、ワシントン条約の
取引が制限されています。このため、メダネモチノウオを輸入するときは、
輸出する国の許可が必要となります。

・プレスリリース



メダネモチノウオの子ども

ふりがなも
つけられるよ



ふーちゃん



ふっくん

せんじん しゅぎょう けんきゅういん
あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.47 (2012年6月発行)

編集・発行: 独立行政法人 水産総合研究センター

質問の送り先・お問い合わせ先: 広報室

〒220-6115 神奈川県横浜西区みなとみらい2-3-3

クイーンズタワーB 15階

TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のこ
とでわからないことがあったら、広報室までハガ
キを送ってね。〈聞きたいことの内容〉〈学年〉、
〈住所〉、〈名前〉を忘れずに書いてね。ふっくん
が「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真
アカモクの森
(写真提供: 東京海洋大学 前田 陽一)